



誠実さ、連帯、そして飛翔

支部長 長谷川 瑞穂

この度、森川淳子前支部長の後を引き継いで東京支部長をお引き受けいたしました。2名の新支部委員を含め14名で支部委員会を運営してまいります。皆さまのご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2020年度は新型コロナウイルス蔓延で思いがけないスタートとなりました。東京支部総会、本部の会員総会とも中止となりましたが、「ともしび」68号をお届けすることができました。寄稿者はじめ皆さまのお蔭と感謝いたします。

東京支部では2020年度はチャレンジ奨学生1名、支部国際奨学生1名を募集する予定ですのでご推薦下さい(詳細は本紙6ページに掲載)。現在はまだ支部活動を十分に実施できない状況ですが、9月以降は状況を見ながら講演会、講習会などを企画する予定ですので、お誘い合わせの上ご参加下さい。また、会員の高齢化などにより、東京支部会員数も大幅に減少しています。知人、友人にお声がけいただき、会員増強にお力をお貸しただけようお願いいたします。

さて人類は今、新型コロナウイルスの災厄に直面しています。生命への危機、長引く自粛要請による経済的な危機が私たちの暮らしを大きく揺るがす体験をいたしました。コロナ禍は多くの



paradigm shift (考え方、行動の方法などが根本的に変わることを引き起こしました)が、東京スカイツリー照明の TOGETHER WE CAN ALL WIN!

文字が示すとおり、私たちはコロナウイルスに打ち勝たなければなりません。アルジェリア系フランス人作家のカミュは、その著「ペスト」の中で、敵(カミュの著ではペスト、今回は新型コロナウイルス)に打ち勝つには、自らできることをする「誠実さ」と「連帯」が肝要であると述べています。また、歴史学者ハラリは、グローバルな結束の重要性を説いています。

私たちも信頼を再確認し、皆で力を合わせる「連帯」と、自らにできることをする「誠実さ」で、先輩たちから脈々と受け継がれてきた大学女性協会そして東京支部の発展に努めていきたいものです。志を同じくする仲間とがんばりましょう!

女性が変われれば社会は変わる

大学女性協会 会長 加納 孝代

このたび大学女性協会の会長となった加納孝代と申します。前任の鷲見八重子さん、また創立以来の歴代会長の皆様方に遥か及ばぬ非力非才の者ではございますが、与えられた使命に全力で取り組んでまいりますので、なにとぞ皆様方のお力添えをお願いいたします。

私は終戦の一年前に福岡県久留米市に生まれました。四人姉妹の末子でした。高校までは久留米、そのあと大学、職業生活(大学教員)、結婚生活と約五十年を東京で過ごしました。その間米国、イングランド、スコットランドでの生活を少しづつ経験し、また大学教員最後の四年は活水女子大学という、長崎にあるキリスト教系女子大



学の学長を務めました。私自身は戦後の民主主義・男女共学の

環境で自由に育った者ですが(専攻は比較文学比較文化)、勤務先は青山学院女子短期大学でしたので、女性たちの成長への思いを励ますことをいつも心掛けてきました。でももっと積極的に、目指すべきは社会をより良いものに変えてゆくことだと教えてくれたのは、お一人のキリスト教の女性宣教師でした。

一九八〇年代のこと、米国から青山学院に来ておられたエリザベス・クラーク先生が「加納さん、私は死ぬとき、私がいたからこの世が少しだけ良くなったと、神様に喜んでいただけたように生きたいのですよ」と言われたのです。女性に高等教育は大事、自分も精いっぱい勉強するつもり、学生にもそう伝えて励ませよう、とは思っていました。でもそれらはすべてこの社会を良くするためだと、はつきり教えられたのは初めてでした。

そうと分かってみると、生きている意味、働く意義、この世の矛盾や不条理の存在理由が明快に見えてくるようでした。そこから考えたのが、まずは女性から変わる、女性が変われれば社会が変わる、ということでした。今の私はその延長線上にいます。おそらく私と同じようなことを思っておられる大勢の皆様方とこれからも一緒に歩んでいくことを楽しみにしています。

第9回定時会員総会について

前支部長 森川 淳子

2020年4月に新型コロナウイルスの感染防止のために緊急事態宣言が発令され、5月24日に予定されていた第9回定時会員総会は、規模を縮小し、本部事務所で行われた。会員には議決権行使書で議事についての賛否を問うた。議決権行使書を含め496名の出席で、第1号議案、第3号議案は、賛成多数で可決承認。その後の臨時理事会で、新理事・監事が決まり、委員会の委員長・委員の承認もなされた。2年間ご尽力された皆様に感謝するとともに、新年度からの活動が期待される。

支部長会、懇親会、研修旅行もすべて中止。会員の皆様と直接お会いし、親交を深める機会がなくなりました。一堂に会してお話しできる機会を早く持つてみることを楽しみにしています。万端計画した愛知支部の皆様には心より感謝申し上げます。



JAUW 総会 6名で

2020年 東京支部総会(書面審議)報告

前書紀 桑折 美子

2020年東京支部総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、4月11日(土)グランドプリンスホテル高輪での開催を中止とし、総会決議事項を議決権行使書による書面審議に切り替え実施しました。

- (1)審議期間 2020年4月4日(土)～4月11日(土)
- (2)審議者 東京支部正会員202名
- (3)総会成立の確認 議決権行使書提出者有効数97(提出者102名の内、無効数5名)。
東京支部規約第10条第2項に基づき正会員202名の5分の1の41名以上の出席により書面審議総会成立が確認され開会されました。
- (4)決議事項 第1号議案:2019年度事業報告
第2号議案:2019年度支部決算報告・会計監査報告
第3号議案:2020年度支部事業計画案
第4号議案:2020年度支部予算案
第5号議案:2020年度支部新役員の選任
- (5)決議結果 書面審議の結果、第1号議案～第5号議案すべての議案について、出席者(議決権行使書提出者有効数97)全員が賛成との意見であったので、原案通り可決承認されました。尚、第2号議案に関する質問が出ましたが、支部長から個別の対応がなされ理解を得ております。

書面審議にもかかわらず、丁寧かつ慎重に審議していただき、ありがとうございます。東京支部会員の皆様には、昨年度の東京支部活動にご協力いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。また今後も引き続き東京支部活動へのご理解とご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

東京支部2019年度事業報告

支部事業

- 4月6日 支部総会 於グランドプリンスホテル新高輪
懇親会
講演会「『風と共に去りぬ』における女の生き方」
講師: 荒このみ氏
- 5月14日 見学会「昭和館見学とランチ」
- 7月22日 チャレンジ奨学生募集 支部国際奨学生募集
「ともしび」66号発行
- 10月 支部国際奨学金支給
- 10月16日 サークル主催講演会「古代日本の宮廷儀礼と馬」
講師: 柳沼千枝氏
- 10月26日 勉強会「AIとは何か?」 講師: 進士多佳子委員
- 11月13日 講演会「宇宙と地球を近くに感じられる場所・南極」
講師: 鈴木裕子氏
- 11月26日 フラワーアレンジメント講習会 講師: 河井尚子委員
- 11月30日 チャレンジ奨学金支給
- 3月3日 2020年支部総会中止通知
- 3月9日 「ともしび」67号発行 投稿特集「私の一冊」
- サークル 源氏物語を読む会(II III)各20回 水墨画教室11回
- 寄付活動 中野区視覚障害者福祉協会へ使用済み切手送付

本部事業 (主な事業・支部関連事業)

- 5月22日 JAUW第8回定時会員総会 於日航プリンス京都ホテル
- 6月～9月 JAUW国内奨学生東京支部圏 募集・選考・候補者推薦
- 7月25日～8月3日 第33回ジュネーブGW総会・100周年記念大会
- 10月19日・20日 JAUW全国セミナー 於NVEC
- 1月11日 新春のつどい 於京王プラザホテル

東京支部2020年度事業計画

支部事業

- 4月4日 支部総会議案を書面にて通知
- 4月11日 支部総会中止
委員会により議決権行使書にて議案採決
新役員・委員にて2020年度委員会発足
- 7月 チャレンジ奨学生募集 支部国際奨学生募集
- 7月 「ともしび」68号発行 支部総会報告
- 10月 支部国際奨学金支給
- 12月 フラワーアレンジメント講習会
- 1月 チャレンジ奨学金支給
- 3月 「ともしび」69号発行

◎新たな企画は、随時お知らせします。

2019年度 東京支部 正味財産増減計算書 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位:円)

科 目	実施事業等会計					その他会計			支部計	備 考
	事業1 セミナー 調査研究	事業2 奨学金・奨励金	事業3 国際奨学・支援	事業4 国際ネットワーク	小計	事業5 広報・情報	事業6 会員活動	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
本部会計からの繰入金収入(交付金)						120,000	81,000	201,000	201,000	
支部活動費						150,000	174,000	324,000	324,000	162口
事業収益										
シンポジウム・講演会・講座事業収益										
支部総会事業収益										
その他の行事参加費							364,800	364,800	364,800	懇親会他参加費
受託事業										
補助金収益										
受取寄付金							48,000	48,000	48,000	サークル他
受取利息		12			12		16	16	16	28
その他収益							2,661	2,661	2,661	カラーコピー使用代他
経常収益計(A)		12			12	270,000	670,477	940,477	940,489	
(2) 経常費用										
事業費										
会議費		5,702			5,702		398,208	398,208	403,910	懇親会他
会場費							75,720	75,720	75,720	
旅費交通費							87,760	87,760	87,760	講師お車代を含む
通信運搬費		5,628			5,628	4,958	62,969	67,927	73,555	
消耗品費①(②以外の消耗品支出)		165			165	35	12,818	12,853	13,018	
印刷製本費						229,600	10,673	240,273	240,273	「ともしび」66号 67号
諸謝金										
研修費							5,520	5,520	5,520	
支払負担金										
支払助成金										
支払寄付金										
支払奨学金		200,000	80,000		280,000				280,000	
諸会費										
図書・資料費							11,660	11,660	11,660	講演会資料他
雑費			368		368	436	522	958	1,326	
事務所費										
給与手当		40,000	40,000		80,000	50,000	50,000	100,000	180,000	
光熱水料費		5,000	5,000		10,000	5,000	5,000	10,000	20,000	
消耗品費②		5,000	5,000		10,000	5,000	5,000	10,000	20,000	
経常費用計(B)		261,495	130,368		391,863	295,029	725,850	1,020,879	1,412,742	
当期経常増減額(A-B)		△ 261,483	△ 130,368		△ 391,851	△ 25,029	△ 55,373	△ 80,402	△ 472,253	
2. 経常外増減の部										
当期一般正味財産増減額(C)=(A-B)					△ 391,851			△ 80,402	△ 472,253	
一般正味財産期首残高(D)					1,522,024			1,947,489	3,469,513	
一般正味財産期末残高(C+D)					1,130,173			1,867,087	2,997,260	
II 正味財産期末残高					1,130,173			1,867,087	2,997,260	

資金残高(2020年3月31日現在)
実施事業等会計
その他会計

現金	銀行名	預金額
0	三菱UFJ銀行	1,130,173
56,036	三菱UFJ銀行	1,811,051

会計
菊池摩耶子
早川 恵子

厳正に監査いたしました結果、正確に記載されており
間違いのないことを証明いたします。

2020年3月27日

会計監査 佐々木澄子 印
会計監査 鈴木 佳子 印

2020年度 東京支部 予算書(正味財産増減計算書ベース) (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:円)

科 目	実施事業等会計					その他会計			支部計	備 考
	事業1 セミナー 調査研究	事業2 奨学金・奨励金	事業3 国際奨学・支援	事業4 国際ネットワーク	小計	事業5 広報・情報	事業6 会員活動	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
本部会計からの繰入金収入(交付金)						90,000	80,000	170,000	170,000	162口新入会員8人
支部活動費						180,000	180,000	360,000	360,000	180口
事業参加費収入										
シンポジウム・講演会・講座事業収益										
支部総会事業収益										
その他の行事参加費							320,000	320,000	320,000	懇親会・講演会他
受託事業										
補助金収益										
受取寄付金							30,000	30,000	30,000	サークル他
受取利息		20			20		20	20	40	
その他収益						3,000	5,000	8,000	8,000	
経常収益計(A)		20			20	273,000	615,020	888,020	888,040	
(2) 経常費用										
事業費										
会議費		10,000			10,000		300,000	300,000	310,000	懇親会他
会場費							42,000	42,000	42,000	
旅費交通費							75,000	75,000	75,000	講師お車代を含む
通信運搬費		5,000	2,000		7,000	5,000	55,000	60,000	67,000	
消耗品費①		2,000			2,000	5,000	20,000	25,000	27,000	
印刷製本費						200,000		200,000	200,000	「ともしび」2回発行他
諸謝金										
研修費										
支払負担金										
支払助成金										
支払寄付金										
支払奨学金		200,000	80,000		280,000				280,000	
諸会費										
図書・資料費							5,000	5,000	5,000	
雑費		1,000	1,000		2,000	2,000	3,000	5,000	7,000	
事務所費										
給与手当		40,000	40,000		80,000	40,000	40,000	80,000	160,000	
光熱水料費		5,000	5,000		10,000	5,000	5,000	10,000	20,000	
消耗品費②		5,000	5,000		10,000	5,000	5,000	10,000	20,000	
経常費用計(B)		268,000	133,000		401,000	262,000	550,000	812,000	1,213,000	
当期経常増減額(A-B)		△ 267,980	△ 133,000		△ 400,980	11,000	65,020	76,020	△ 324,960	
2. 経常外増減の部										
当期一般正味財産増減額(C)=(A-B)					△ 400,980			76,020	△ 324,960	
一般正味財産期首残高(D)					1,130,173			1,867,087	2,997,260	
一般正味財産期末残高(C+D)					729,193			1,943,107	2,672,300	
II 正味財産期末残高					729,193			1,943,107	2,672,300	

2018年度チャレンジ奨学生レポート

慶應義塾大学看護医療学部卒業(2020年3月)
国立成育医療研究センター 助産師 増山翔子

私は、2020年3月に看護師と助産師の国家試験に合格し、現在、国立成育医療研究センターの産科病棟で助産師として勤務しています。チャレンジ奨学生として選出していただいたことが、助産師の道に挑戦する大きな力となりました。心より感謝申し上げます。

私は、法政大学で福祉を学んだ後、発達障害児者の療育指導に携わりました。その中で、より専門的な知識や技術を持って、女性と子どもたちに関わる仕事がしたいと思い、慶應義塾大学の門戸を叩きました。

大学3年次までは、医療システムや医療政策等広く看護や医療を学びました。大学2年次に行った看護政策の提言では、ポスター発表を通して、看護研究の必要性と研究の面白さを学ぶことができました。大学3年次では、医師による専門的な病態の講義と看護学の講義、そして病院内でのケア実践で毎日が充実していました。

また、勉強だけでなく、ホスピタリティを学ぶため、旅館で仲居をした経験も私自身の感性を豊かにした学び

であつたと感じています。

慶應義塾大学に入学した当初は、新生児看護のスペシャリストとして母子の力になっていきたいと考えていました。しかし、実習で出会った助産師の姿をみて、より専門的なサポートのできる助産師に魅力を感じてきました。そうした中で、チャレンジ奨学生に採用された事は大きな励みでした。学内選考を経て、4年次に助産師選択コースに進学することができました。2つの命を預かる責任の大きさと重さに押しつぶされそうなくともありますが、助産師として責任を全うしていく所存です。

大学女性協会東京支部の皆様は、私にとって智徳の模範であり、洗練された気品を学ぶ機会でありました。昨今、女性の社会進出に伴い、周産期を取り巻く環境はより複雑になっています。女性の選択を尊重し、喜びにも悲しみにも寄り添える助産師となるよう精進してまいります。今後もお助言のほど、よろしくお願ひいたします。

会員寄稿1

私の俳句創作

浙江大學經濟學院教師 夏瑛

2016年夏の終わりに、中国留学生数名と「チャップリン会」の俳人達と一緒に日本橋で吟行することになった。これをきっかけにして俳句の道が始まった。同年「天為」に入会した。それ以来、毎月の吟行、例会及び投句を楽しんできた。2018年秋、有馬朗人先生のご推薦で天為俳句会の同人になった。新同人の自己紹介で、「俳句を通して日中文化の相互理解を深めたい」と決意した。

2019年12月、日本での仕事を終えて中国に戻った。正直言つて、俳句を続けられるかどうかは自信がなかった。今年に入ってから多くの関係者に俳句を出して欲しいと声を掛けられた。そして真剣に俳句のことを考えて、俳句を詠むことができ、自分も俳句に癒されるようになった。数カ月前に、中国の多くの国民は、日本からの支援物資に添えられた「山川異域、風月同天」という漢詩に深い感銘を受けた。その後、新型コロナウイ

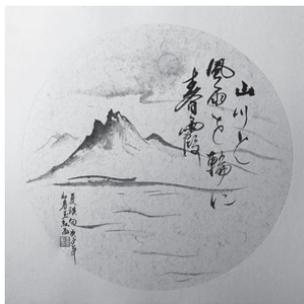


図1



図2

ルス感染拡大で、中国からマスクなどの防疫物資が日本にも寄贈されるようになった。贈られた漢詩へのお礼に、俳句を贈りたいと思った。3月末と4月の初め、「山川と風雨を輪に春霞」(図1)、「玄鳥至時空を越えて古都と古都」(杭州から京都向け)、「鴻雁北一衣帯水の絆かな」3句及び友人が描いてくれた俳画と一緒に日本への支援物資に添えられて、友好の気持ちを伝えることができ、嬉しかった。

また、最近「人民中国」というメディア(ネットと雑誌)に投稿することもできた。有名な俳句の翻訳、挿絵及び漢俳、漢詩、俳句、川柳などの自由投稿欄もある。二十四節氣に基づいて半月ごとに内容が更新される。投句が認められたら、半月後に正式に掲載できる。私も時々投句するようになった。多い場合、先月天台山の旅をした後詠んだ16句を一気に掲載されるようになった。その一句「石梁の飛瀑を臨む古利かな」の俳画は図2のようである。これからも俳句を通して日中相互理解のために頑張りたいと思っている。

会員寄稿 2

オンライン授業、オンライン会議

しんじ たかこ
進士 多佳子

新型コロナウイルスの感染拡大防止で、ビジネスではテレワーク、大学では遠隔授業が行われた。まず、授業を中心に概観をしてみたい。

●リモート授業の2種

その方法は大きく非対面型と対面型に分かれる。

(A) オンデマンド授業(非対面型)。

教員は講義を文書または動画にして、大学が指定するインターネットシステムに載せる。学生は資料を入手し、好きな時間に授業を受ける。

(B) オンライン授業(対面型:リアルタイム)

教員、学生とも同時にインターネットに繋ぎ、教員は画面を通して講義を行う。学生の顔の表示有無は選択可能。

●潮流はハイブリッド?

春の応急対策をきっかけに、現在、世界中の学校でさまざまな遠隔授業が検討・開発されている。

7月初旬に、国立情報学研究所「大学のあり方検討会」のシンポジウム(これもオンライン)があった。ある大学の調査発表によると、「教員、学生とも、オンライン授業に問題はない。ほとんどの教員はリモートを望む」との結果。むしろ、従来型の授業より精度が上がったと感じられているようである。今後については、「ハイブリッド(対面とリモートの組み合わせ)を推奨、オンライン試験、オンライン技術の養成なども解決項目になっている。

いずれにしても教員は慣れた講義の型をアレンジすることになる。従来のように学生の様子に応じて口頭でフォローするのは困難。何より、資料を電子化する必要がある。学生による録画も簡単なので、周到な準備が重要だ。多少のIT技術も欠かせない。私は講師として2校で計3種の授業を担当、動画も用いたので夜明けを数回見た。この時期、多くの先生が睡眠時間を減らして創意工夫されたと思う。

ビジネスでも営業職以外はリモートワークが推進されている。パソコン画面を介しての打ち合わせでは「空気を読む」ことが難しいため雑談は大幅に減り、計画通り合理的に進行となる訳である。メリットは大きい、一方で「深まる成果主義」への懸念が始まっている。

会議手法の選択肢が増えたのはよいと思う。5月と6月の東京支部委員会でも会議システム「ZOOM」を活用、数人は事務所で、数人は自宅からリモート参加した。(写真)



会員寄稿 3

新型コロナ禍(下)・雑感

たなか のりこ
田中 紀子

「新入支部委員は原稿を書いて戴く、獣医師なのでコロナ感染について書くよう」とのご要望を受け、獣医師免許を活かす経歴のなかった自分としては、生活者の雑感を述べさせていただく。

「コロナウイルス感染症」というと鼻かぜに加え SARS 等が思い浮かぶ。一方、動物では学生時代にインプットされた指定伝染病、ニワトリ伝染性気管支炎等、ウシ、ネコ等の重要な複数の疾病が実は「コロナウイルス感染症」である: 疾病名は頭の片隅にあったが、コロナウイルス感染症とは記憶にあらず。1960年代、ウイルス粒子表面に特徴的な約20nmの王冠(Corona、ギリシャ語)様突起(スパイク)を持つことから、Corona virus と命名され、その後 SARS 肺炎の原因をネコ・コロナウイルス研究者のOsterhaus博士がコロナウイルスと同定した。今回の新型コロナウイルスSARS-CoV-2による感染症、疾病名 COVID-19は、「新型コロナ」として記憶に刻まれ、歴史に残ることは間違いない。(早く『過去の歴史』になって...)。新型コロナウイルス感染症は、「新興感染症」(新しく出現した感染症)と位置付けられる。例えば、エボラ出血熱、エイズ、そして SARS 等が「新興感染症」である。過去には、ヨーロッパの「パンデミック」(幅広い世界的流行)天然痘は、インカ帝国の住民

には新興感染症で、膨大な死者を出したウイルス感染症で、インフルエンザ「スペイン風邪」とともに医療史で必ず取り上げられる。「新興感染症」対策は「3無」(予防法がない。治療法がない。集団免疫がない)の無い無いづくしの中、手探りで進めていかざるを得ないため、疾病情報の共有は極めて重要である。SARS 流行の際、中国の報告の遅れにより、韓国、台湾、香港で犠牲者が出たことから、今回、これらの国の入国制限は日本よりはるかに迅速、かつ厳格であった。2020年1月末の日本報道では「本邦では7例の患者が報告されておりますが、1例を除きいずれも武漢に滞在していた方です」「...二次感染事例も報告されていないため、国内での感染伝播は限定的と考えられます」とされ、「季節性インフルエンザ並みの注意で良いのかな」と感じさせるものであった。一方、台湾では1月2日に専門家を招集し国民向け注意喚起、国境管理の厳格化をはかり、1月21日武漢からの帰国者の初の感染者の確認で、警戒レベルをLevel 3に一挙にあげている(台湾CDCHP)。

現在の新型コロナに対する対応はまだ続くが、これを機会に全世界で協力し、次の新興感染症対策をも視野に入れたリスク管理体制構築が望まれる。

投稿
募集

テーマ 「私の先生」

学校の先生、人生で学びをくださった先生、あるいは人でなくても「師」となった何か。みなさまの「先生」のお話をお寄せください。

文字数: 800字以内
記載事項: 氏名、所属支部
締め切り: 2020年(令和2年)12月
掲載: 『ともしび 69号』
応募方法: メール添付または郵送

※詳細は、チラシをご覧ください。

一般社団法人大学女性協会 東京支部国際奨学生 募集要項

一般社団法人大学女性協会東京支部は、日本以外の高等教育機関に在学する女性に、母国における女性の地位向上に貢献する人材を育成することを目的として、奨学金を支給する。

- I 応募資格
II 支給額、支給期間および募集人数
III 応募提出書類
IV 募集締め切り
V 選考結果通知
VI 奨学生の義務
VII その他

一般社団法人大学女性協会 東京支部チャレンジ奨学生 2020年度募集要項

一般社団法人大学女性協会東京支部は、企業、官公庁などでの就労経験の後、現在大学で勉学中の意欲ある女性に、その勉学を支援することを目的として奨学金を支給する。

- I 応募資格
II 支給額および募集人数
III 応募提出書類
IV 応募方法および締め切り
V 選考結果通知
VI 支給
VII 奨学生の義務

問合せ先：一般社団法人大学女性協会東京支部 支部長 長谷川瑞穂 E-Mail:jauw@jauw.org URL:http://jauw.org

サークル案内

- 源氏物語を読む会(II)
源氏物語を読む会(III)
水墨画教室
JAUW事務所会議室

2020年度東京支部委員会

- 支部長 長谷川瑞穂
副支部長 森川淳子
書記 坂上栄美子
会計 早川恵子
委員 太田恵子 木村和子 進士多佳子 野瀬久美子 佐々木澄子

2020年度東京支部新入会員

- 加納孝代 (東京大学・東京大学大学院)
蓮見元子 (東京女子大学・東京大学大学院)
田島節子 (東京大学・東京大学大学院)

*敬称略 *50音順、括弧内は出身校

フラワーアレンジメントの講習会のお知らせ

講習会:12月1日(火) 講師:河井尚子会員



※詳細が決まりましたら、お知らせします。

支部からの連絡

- 住所等の変更はお知らせください。
会費未納の方はお早目にお願います。
91歳以上の会員の会費は免除することがあります。

《編集後記》

今年2020年は終戦から75年。東京支部発行の書籍「あの頃わたしは」から5年経ちました。この間にもご投稿がありました。この間に掲載させていたいただきました。このテーマを東京支部のライフワークとして継続していければ幸いです。これからも、皆様のご投稿をお待ちしています。

(編集担当 嶋田進士)

ともしび 第68号 発行日:2020年7月28日(火)

編集/発行:一般社団法人大学女性協会東京支部 〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6-101

Tel:03-3358-2882 Fax:03-3358-2889 Email:jauw@jauw.org URL:http://www.jauw.org

制作協力/印刷:株式会社 繁松

※「ともしび」は会員のための情報誌です。外部に向けた転載、引用などは事務局までご一報ください。